

**集落自主活動に係る伴走支援事業**

**田村市船引町瀬川地区  
2022年度 活動報告**

**獨協大学セガワ応援隊**

# 田村市船引町瀬川地区の概要と課題

## ■ 概要

- ・瀬川地区は田村市の北西部、旧船引町の北部に位置する。面積は17.73Km<sup>2</sup>、標高400m前後の丘陵地で、東側には地域のシンボリックな存在の移ヶ岳（標高994.5m）がそびえる。丘陵地の大部分が森林で、低地の部分に田畑の耕作地が広がる。

## ■ 瀬川地区の抱える問題

- ・子育てしにくいいため、若い世代が少ない。
- ・地域でのイベントや特産品がなく、外部の人を呼び込む要素が少ない。
- ・仕事が少ない。
- ・空き家、空き地が多い。

## ■ 取り組むべきこと

- ・地域住民が交流する場をつくり、多世代のコミュニティを形成する。
- ・外部の人を呼び込むイベントや特産品を生み出し、収入を発生させる仕組みをつくる。
- ・空き家や空き地、廃校などの利活用。



# 今年度実施した取り組みの内容

日付	内容
2022/7/13	学生オンラインMTG・今年度キックオフミーティング・初顔合わせ 自己紹介・役職決め
2022/8/25	学生オンラインMTG・昨年度までの活動振り返り
2022/10/14	学生対面MTG
2022/10/31	オンラインMTG・地域住民と現地調査に向けてMTG・活動の振り返り
2022/11/2	オンラインMTG・地域住民と現地調査に向けてMTG
2022/11/8	学生オンラインMTG・現地調査の準備
2022/11/21	学生対面MTG・現地調査の振り返り
2022/12/2	地域住民とオンラインMTG・現地調査の振り返り・物産展の打ち合わせ
2022/12/9	学生オンラインMTG・物産展の打ち合わせ

# 現地調査 11月12日～13日

## ■ ワークショップ 20名

- ・学生がファシリテーターとなり行った。
- ・学生と地域住民で4チーム作り、「地域の魅力」「地域の課題」「今後やりたいこと・取り組み」の3つの議題で、話し合った。
- ・模造紙に意見をまとめることで、目で見てわかる。
- ・実際に現地の方から話を聞き、課題や問題点を見つけ今後のまちづくりの提案を考える良い機会になった。



## ■ 新そば収穫祭&軽トラマルシェ

- ・右の写真は、2018年度のセガワ応援隊が制作した木箱を組み立てている様子。
- ・お客様の誘導や蕎麦の配膳を行った。
- ・来客した方に「実態調査アンケート」を実施し、調査をおこなった。



# 獨協大学環境週間“Earth Week Dokkyo 2022 ～Winter～”地域振興応援物産展

## ■ 目的

- ・学内外の田村市船引町瀬川地区に対する認知度向上
- ・獨協セガワ応援隊の認知度向上

## ■ 物産展で販売した特産品

そば粉、はちみつ、キウイ、里芋、ハヤトウリ、  
米、エゴマ油、アピオス

➡学生が作成したチラシを配り、商品の説明を行った。

## ■ 評価

- ・獨協大学周辺の地域住民の瀬川地区に対する認知度向上に貢献することができた。
- ・1000枚のチラシを近くの住宅に配ったが、中々大学周辺の地域住民を呼び込むことができなかった。
- ・開催場所や時期など改善の余地がある。



ハヤトウリ



アピオス



エゴマ油



お米

# まとめ

## ■今年度の活動の総括

- ・2019年度、3年ぶりに現地調査にいったのは良かった。
- ・今までオンラインMTGのみだった為、実際に現地にいき観光資源をまわり、意見交換をすることで地域の「良さ」や「課題」を肌で感じる事ができた。

## ■最もやりがいを感じたこと、新しい発見

- ・新そば収穫祭の手伝いや物産展など、決められたことに自分たちで考え、ひと工夫加えることで、やりがいを感じた。
- ・現地調査は自分たちの現地へのギャップを埋める機会にもなった。メンバーは「もっと過疎地域」だと思っていたが、実際に行ったら観光資源など良いところがたくさん見つかった。

## ■特に評価の高かった取り組み

- ・ワークショップは地域住民から評価が高かった。MTGをしている「やってみっ会」だけでなく、「結いの会」「消防」「市職員」など様々な業種の方と意見交換をし、様々な視点での意見を聞くことができた。4つのグループで、意見を付箋に書き、模造紙に貼ることをそれぞれ行ったため、他チームでできた意見もみることができた。

# 今後に向けて

## ■ セガワ応援隊の課題

- ・伝統芸能の三匹獅子舞や太々神楽をどう継承し、広報するか
- ・実際に現地いった学生が感じる外から見た瀬川の良さをアピール
  - ➡InstagramやTwitterなどSNSを活用
- ・地区内・外の交流➡軽トラマルシェの手伝い&改善、新たなイベントの提案
- ・空き家や耕作放棄地といった空き地の活用を提案
- ・今年度末に閉校となる瀬川小学校、10年以上前に閉校になった瀬川中学校の利活用



## ■ 伝統芸能を活用した集落活性化企画

- ・伝統芸能の撮影&動画にする
- ・SNSや物産展を活用し、地域の特産品や伝統芸能を情報発信
- ・瀬川地区観光パンフレット制作、多言語化
- ・秋の例大祭に奉納される伝統芸能鑑賞ツアーの事業化(バスツアーetc.)
- ・オリジナルキャラクターを制作して伝統芸能に親しみやすさを
- ・空き家の有効活用と伝統芸能を結び付けた事業
- ・軽トラマルシェのサポートと大学で開催する物産展の継続